

由木あすなろ保育園の保護者の皆様へ

2021年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ（<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

5か年の中・長期計画が職員の意見を反映させ、具体的に立案し、着実に実施されています

当園には2020年度から2024年度までの5か年の中・長期計画が作成されています。その表には、サービス向上、組織力強化、社会貢献などの経営目標を大項目として、それぞれ経営課題や細目、そして、主たる担当者を設定し、職員間で話し合い、意見を反映させ、各年度の具体的な実施テーマが設定されています。この表を見れば、当該年度までに何が達成されて、積み残した課題は何か、今後何を重点的に取り組むべきかがはっきりとわかります。こうした緻密な中・長期計画のもとにそれぞれの職員は問題意識を持ち、課題に立ち向かっています。

職員の保育の質を高める研修体系が確立され、着実に実施されています

職位による職務、職責、必要な能力、さらには、それに伴う研修などを一覧にしたキャリアパスが作成されています。ただ、この研修体系の表は文字が多く見づらいという職員からの意見がありましたので、カラー版の研修体系一覧表を作っています。その表は経験年数に合わせてどのような内容のものを受講したらよいかが一目でわかり、職員からステップやスキルアップの仕組みがわかりやすくなったと好評です。このように当園では、保育の質の向上を図るために、日ごろの研修が大事と考え、外部研修のみならず園内研修にも力を入れています。

広い園庭や近隣に数多くある公園で、子どもたちは体を鍛えるだけでなく、四季折々の自然を楽しみ過ごしています

当園は自然に囲まれた閑静な住宅地にあります。園内には広い園庭を有し、子どもたちがのびのび駆け回って遊べます。そうした中で、体幹が鍛えられるアスレチック遊具も備えています。また、平坦な場所だけでなく、地形を生かし、起伏をつけたスペースもあります。園外の散歩も、遊歩道だけを通って公園まで行けるコースがあるなど、車の心配をせず、安全に散歩が楽しめます。こうした公園が園の周囲に数多くあります。子どもたちは、四季折々の自然に触れたり、いろいろな生き物に出会ったりして命の大切さや生命の不思議などを学んでいます。

さらなる取り組みが期待される点

係活動はPDCAサイクルで活動していけるとさらに良いでしょう

行事や絵本、おもちゃなど保育に直結した係活動は担当者を決め、それぞれプランニングし、達成度を確認して進めています。このような係活動のほかに、園運営に関する係活動を職員がそれぞれの立場でサポートしていくことも大事な業務です。具体的な例を挙げれば、電気や水道代、トイレトイペーパーや消毒剤などに関しても、前年度と比較して数値目標を設定して合理化を図っていくことなどです。この合理化をPDCAサイクルで活動していき、そこで浮いた費用を職員の福利厚生に充てていくことで、職員の意欲にもつながることでしょう。

事業継続計画（BCP）のさらなる充実を期待します

災害や事故に対する事業継続計画（BCP）は作成されています。そこには、事業継続困難事態の判断基準や事業再開の基準（行政への再開申請・許可、安全性の確保など）が決められています。さらに、事業所内部の再構築事項として全面再開へ向けての課題、職員配置及びシフト調整や職員の行動基準なども考えられています。こうした計画書に沿って、大規模災害に対応していくことになってはいますが、これらに加えて、通勤経路申請書や権限規定などはすでに作成されていますので、事業継続計画書に添付しておくとなお良いでしょう。

印刷コストの削減を工夫して、職員の資料も十分に準備できる研修の工夫を期待します

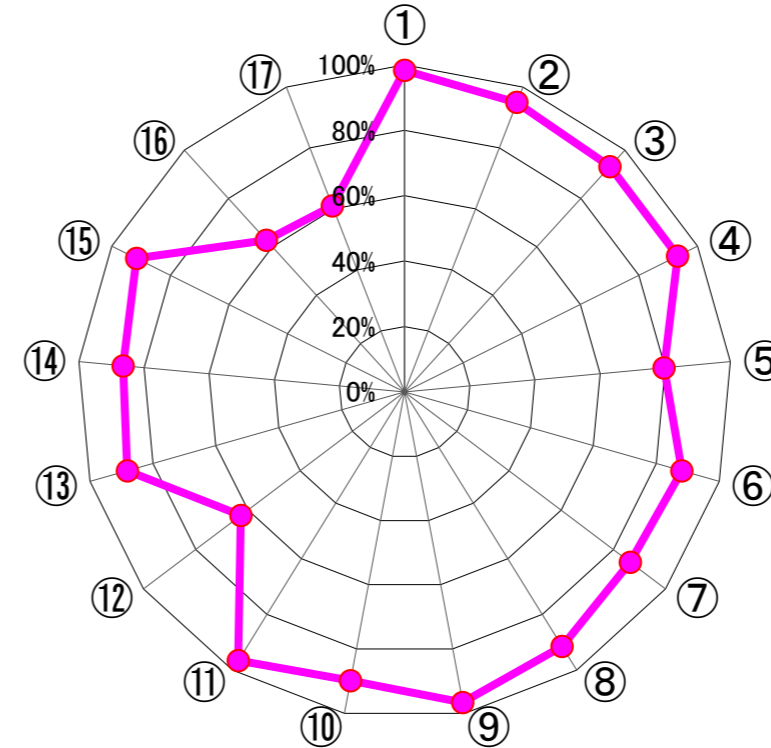
コロナ禍が続いていて、職員の外部研修参加あるいは園内で大勢集まる研修などを自粛せざるを得ません。そうした中でも、職員の保育の質を高めるために、さまざまな研修の機会をなくすことはできません。当園では、オンライン研修を積極的に導入しています。ただ、多くの研修を受講するにあたり、研修にかかわる資料の印刷費が予想以上にかかっています。研修は大事ですので、今後も継続していくために、今後はコストの削減の工夫（例えば、印刷機の機種変更や資料のデータ提供など）の取り組みをされると良いでしょう。

利用者アンケート結果概要

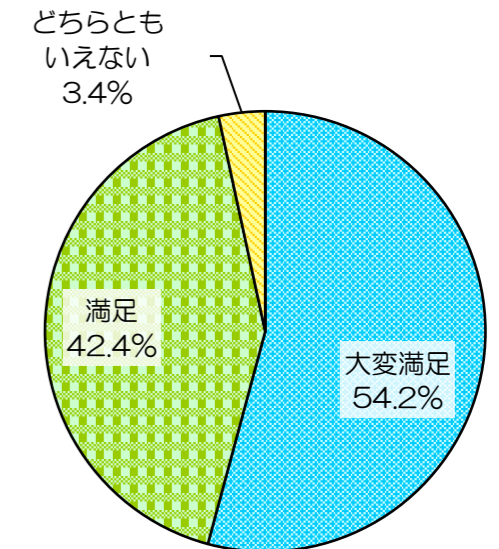
実施期間：2021年10月18日(月)～2021年11月1日(月) 回収率：63.4%

※11月9日到着分まで集計

質問別「はい」の回答率



園に対する総合満足度の結果



〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）
※結果が公表されるまでに時間がかかる場合があります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

お忙しいところアンケートへのご協力ありがとうございました。保護者の皆様から温かいお言葉を沢山いただき、大変励みになりました。これからも、職員一同力を合わせて頑張っていきます。皆様からのご意見を元に、次年度に向け改善計画を立てました。

- ・事務室前、玄関での受け入れ時の、検温時間を短縮するため、体表面温度モニタリング装置を、玄関に設置します。
 - ・園日より、献立表他、データ配信に切り替えます。
- 準備が出来次第、対応していきます。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
(認証評価機関番号 機構05-149)

